

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	6118	(H.26)No.	6118
-----------	------	-----------	------

事務事業名	文化振興費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	西山 正彦	

会計区分	事業コード	501501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款	教育費	文化振興費
項	社会教育費	(小事業名)
目	文化振興費	文化振興費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施策	1	市民文化
	小施策	1	文化芸術活動の振興
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
名張市文化の発信と、市民文化の向上を図ります。
事業内容
一般経費及び市民文化祭の実施委託料と、市美術展覧会経費を含んでいます。 美術展覧会は、本年で58回を数える伝統ある行事で、市民の芸術文化に親しむ機会や創作活動に親しむ場を提供しています。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	庶務経費ならびに市民文化祭の委託料 名張市美術展覧会の開催にかかる経費 平成26年度名張市美術展覧会出品数(応募者数) 絵画:29件、書道:20件、写真:67件、美術工芸:23件 合計139件	庶務経費ならびに市民文化祭の委託料 名張市美術展覧会の開催にかかる経費 報償費 979千円 需用費 95千円 役務費 5千円 委託料 561千円 使用料 180千円	庶務経費ならびに市民文化祭の委託料、名張市美術展覧会の開催にかかる経費	庶務経費ならびに市民文化祭の委託料、名張市美術展覧会の開催にかかる経費	庶務経費ならびに市民文化祭の委託料、名張市美術展覧会の開催にかかる経費

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	1,771千円	1,820千円	1,820千円	1,820千円	1,820千円
内訳(千円)					
国・県支出金					
地方債					
その他(諸収入)	345	360	360	360	360
一般財源	(0) 1,426	1,460	1,460	1,460	1,460
人工数					
職員	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人	0.30人
臨時職員等					
②概算人件費	(0千円) 2,250千円	2,250千円	2,250千円	2,250千円	2,250千円
①+②総事業費	(0千円) 4,021千円	4,070千円	4,070千円	4,070千円	4,070千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
市美術展覧会では、高校生の出展料を減免するなど応募数を増やす工夫をしました。市民文化祭では、邦楽や舞踊、狂言などの伝統芸能の発表をはじめ多彩な行事が開催されました。	より効率的な事業運営を図るため、民間の助成金の活用を図りながら、市民文化の向上に努めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	市民文化祭や美術展覧会開催により、市民が身近なところで文化に親しむことができる機会を提供し、文化芸術活動の振興を図りました。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(※実践内容を記載→)	市民文化祭については、名張文化協会に委託をしています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
市美術展覧会や市民文化祭などの事業の財源には、民間助成等を活用していきます。	